

# 鵠川・ピリカ・プロジェクト

## ～美しい川をめざして～

「ピリカ」とは、アイヌ語で「美しい、良い」などを意味する言葉です

## 第7回 「鵠川・ピリカ・プロジェクト」が開催されました。

～美しい川をめざして～

平成20年3月25日(火) 18:00より、第7回「鵠川・ピリカ・プロジェクト」として「鵠川の環境教育とアイヌ文化」をテーマに講演会を開催し、講演会の後に意見交換を行いました。14名の委員が出席しました。

### 講演内容(抜粋)

#### 1. 宮本講師の講演

- \* 北海道は、北方圏では最南端に位置し、また、食料生産基地とされたため自然と農林水産業が残った特徴がある。
- \* エコツーリズムの基本は観光振興、環境保全、地域振興のバランスを保つことであり、地域の人がいかに自立的に学習し、いかに自立的に物事を進めていくかがポイントとなる。
- \* 地域づくりにとっては地域の資源を見直すチャンスであり、他者からの評価も受けられる。また、観光は、食べる、遊ぶ、泊まると幅が広く、地域内で連関するチャンスができる。
- \* エコツアーは中間目標でしかない。エコツアーという交流の中で資源を見直し、外の人とつながりながら、新しい文化や経済活動を見つけていくことが大きなポイントである。
- \* 地域資源とか資金を有機的にネットワークして活用し続ける機能や力が大切であり、川で連関をするということは大きな意味があると思う。



宮本講師の講演の様子

#### なぜエコツーリズムに取り組むのか

北海道には良質で特徴的な自然  
日本の中で食料生産基地としての位置づけのため  
2次産業が発達しておらず、きれいな自然と農・林・水産業  
が残っている。

この資源を 持続的に 上手に活用した  
ライフスタイル・文化・産業 を手に入れたい

自然環境の持続化を考え、産業や地域と結びつき、地域が  
主体的に考え、他の地域と交流した学習の機会が必要

宮本講師の講演説明資料より

#### 2. 片山講師の講演

- \* シシャモは鵠川の大切な資源である。昔の松浦武四郎の調査でも、アイヌの家に泊まった際においしいからシシャモを食べなさいと言われた記録もある。
- \* アイヌ文化で非常に大事と思うのは、切った木の代わりに挿し木したり、山菜、魚などをとる際にも他の動物や自然繁殖分に配慮したり、資源が枯渇しないようにするところ。アイヌの大事にしてきた、ものを大事にし、無駄なことをせず、余分なものはとらない価値観を見直すべきと思う。
- \* サケなどを動物が食べた残りが川沿いの木に栄養を与え、強い根が張って川を守る。木を育てることが森を育て、森を育てることが川を育てると言われている。
- \* 鵠川源流は石灰質の豊富な蛇紋岩であり、養分がホッキ、ホタテを育てるのによい話もある。また、河川地の牧場からダービー馬が出ており、河川敷地の牧草にはよい栄養がある。
- \* 江戸時代やそれ以前のアイヌ文化に紹介されているように、鵠川は魚と環境に恵まれた、人々もすばらしい場所と思う。



片山講師の講演の様子



片山講師の講演説明資料より

## 意見交換(抜粋)

- \* アイヌ文化を教育の一環とする取り組みが遅れている。
- \* 子供の時から交流などがあれば、記憶に残るかもしれない。
- \* 学校だけでは難しい点もあり、町として取り組む必要がある。
- \* アイヌ民族の文化を教える先生の知識や博物館を利用する等の取り組みが必要だと思う。
- \* むかわにアイヌ文化の博物館等ができればよい。
- \* 誰がどうするかが大切。アイヌ文化は、現在のエコや自然を守る観点でも基本の考え方。このあたりから始められないか。
- \* アイヌ文化は口伝。口伝とは心に入ること伝えること。母親から子供への伝えを学校が補助できないか。
- \* 植林や護岸などにもアイヌの文化があるかもしれない。川づくりの中でアイヌ文化とエコツーリズムが合体できないか。
- \* アイヌ文化をただ説明するより、自分が知っている話や地域に関連することで、印象に残るのではないか。
- \* アイヌ文化の教育についてはデリケートな面もある。
- \* 「川育」と言ってもいいが、川で遊びながら河川敷なども結びつけていく方法があったほうがいいと思う。
- \* 文化の発掘、勉強会、資料を集めながら、子供に伝えられるものを探り、財産として残せるものができればよい。
- \* 素材は山ほどある。地域が潤うこと、活性化、環境保全など地域住民の気持ちを一つにできるように話し合うべきだ。
- \* 地域の目指すものが違うのではないか。全体が溶け込めるものがあればと思う。
- \* 占冠ではヤマメだが、むかわではシシャモが前提であり、生態系でも立場によって違う。
- \* 子供の体験学習等で広がれば、町外から癒しを求めてくるかもしれない。
- \* 観光による環境への負荷を修正する体験などがあれば、環境保全にもつながるだろう。何かを体験して次につながるストーリーがあれば可能ではないか。
- \* 上流の人がシシャモをイメージし、下流の人が上流をイメージできるようにすることが、最大のテーマに思える。
- \* つなげてマネジメントする組織、機能に投資、汗を流さないとうまく機能しない。

## 講師意見(抜粋)

- \* つながりを作っていくものの中心に育がある。観光もそうだが最後は、子供を含む学びが中心になるという感想を受けた。
- \* シシャモぐらい貴重なものはないと思っており、穂別の人にもシシャモは大事だと実感されると思っている。



意見交換の様子